

# 学術会議6人任命改めに要求

「1年放置の異常正して」「学者の会」が声明



菅義偉首相が日本学術会議の会員候補6人の任命を1年にわたって拒否している。この受け、「安全保障関連法に反対する学者の会」が1日、都内で記者会見し、改めて会員候補6人の任命を求める声明を発表しました。

↓声明全文⑤面  
声明は、任命拒否が「日本学術会議が保障する科学の政治からの自律性を保障する」とは既往主義社の立場から政治に助言する組織。それには科学の自律性が保障される必要がある。あらかじめ政治が科学の側に影響を及ぼすようでは、科学的な助言ができるないところのが国際的な常識だ」と述べました。

記者会見で声明を発表する「安全保障関連法に反対する学者の会」の代表 国田一郎、東京都代田区

本学術会議法が保障する日本学術会議の職務の独立を危うくし、6名の科学者の学問の自由を侵害して、名譽を傷つける」と指摘。「思

想と学問の自由を擁護し、語りました。

また、「日本学術会議は

藤学・東京大学名誉教授は「問題が1年も放置されてしまう」との異常さと、気がかない人が首相になろうとしている。この異常性と私

と語りました。

現会長の高山佳奈子・京都市大学教授は「日本学術會議法上、首相は任命を拒否できない。違法状態が1年にわたってまかり通っている。日本が法治国家でないことが国内外に知れ渡り、国際的信用を害している」と語りました。

改めて会員候補6人の任命を求める声明を発表し、あともう一度発足する新政権に6人の任命を求めていきます。

日本学術会議元会長の渡辺吉・東京大学名誉教授は「菅首相は、当事者である日本学術会議が説

明を求めて、任命拒否の理由を一切説明しない。これは総裁選前の会見で、任命拒否の「撤回は希望ない」と語っています。

これにつれて「元会長の佐藤ひづる」「元会長の佐藤ひづる」と語りました。